

# 滿洲工事だより

## 第2 松花江水電工事の進行

松花江ダムは鴨綠江ダム、鏡泊湖ダムと共に産業5ヶ年計畫樹立と同時に建設に着手されたもので、第一期計畫として60萬キロワット出力を目標としてゐる。第1次5ヶ年計畫最終年度は康德8年度（昭和16年度）であるから、このダム工事も8年度には完成しなければならぬ、既に製鐵工場、木工工場、工作機械工場、製版工場、實驗工場それにアイセル機關車78輛を收容かつ修繕する機關庫等あらゆる附屬工場は完成工事場數10尺の高所に据えられた混合攪拌機は一分の憩ひもなく活動してゐる、そしてこれらの動力源となる電力は44000ボルトの高壓線が新京から引き込まれ、別の意味における動力源たる労働者約12000人が機械に見事な統制下に活動し、數年前には人跡稀であつたこの附近の河の左岸に技術者關係の住宅右岸に労働者住宅で人口數萬に達せんとする町が出来、昨春郵便局、小學校、警察、市場等も出来上つた。それでも労働者は高給をもつて引抜かれるため、労働者不足對策は賃金引上げなどのほか、遊廓街などもわざわざ作つて提供したが及ばず、苦力補充策に歸順匪或は囚人を活用する方法をさへ採用してゐる、現在囚1500人位の囚人が働いてゐるが、成績は非常に優秀であり明年は3000人餘りを使甲する意向だといふ。

完成後に於けるダムは高さ80米乃至83米、長さ1100米、堰堤を切斷したる斷面梯形の底邊は65米となるべく、このダムに優るもの世界にたゞ一あるのみ。コンクリート容積1990000立方米は米國ホルダー・ダムに次ぐものといはれ日本における數々のダム工事も到底足許に及ぶものなしといふ、老大なもので、堰堤完成後その下部に建築せられる發電所は丸ビルに匹敵するといはれる。この工事は今年で第3年度である、計畫によれば第1年度においては調査設計、第2年度工事用假設備、第3年度本格的工事であるから、實際には本年が建設第1年度であり、従つて3年間にこの工事は完成せしめられるといふ、超スピード振りを發揮するわけで、世界におけるダム建設史にその例を見ないものとされてゐる。

建設本工事は先づ右岸の流れを締切る工事に始められ、右岸の締切を終了し、同所に堰堤基礎工事の

コンクリート注入が終り、平水面上4米の高さに達したるとき、左岸の締切りが始まり、右岸堰堤内排水渠より平流水を流出せしめる如くし、左岸工事を終了するのである。右岸締切工事は康德4年11月先づ開始せられ、延人員30萬人の苦力を使役し、極寒中3日に1人の犠牲者を出す猛努力によつて5年6月締切を終り、同地区内水面下25米の岩盤迄土砂を削ぎ取り、堰堤最下底部へのコンクリート注入が行はれた。

このコンクリート工事が平水面上約4米に達した時、いよいよ左岸締切工事が始るのであるが、年内には左岸締切工事に着手せられんとするに至つてゐる。従つて、

現在までの工事は右岸堰堤の基礎が、平水面上約4米作られた譯で、より本格的工事は今冬結氷期を期して行はれる左岸締切後から始り、今冬より明春にかけて完成する1本2000トン呑む混合器4本を備へる世界第一の混合工場と相俟つて、明年秋頃のダム建設狀況が最も印象深いものとならうし、徐々に人工湖水風景も見られよう、松花江ダム建設は使用されるコンクリートはその量190萬立方メートルで最盛期一日の使用量1500トン、堰堤總使用量50萬トンであるから、これに要するセメント袋1000萬袋とし、

假りに紙袋1枚を20錢とする時は紙袋のみ200萬圓、現下の紙袋不足時代には再生紙袋、あるひは古袋でも20錢以上するものであるから、新紙袋を用ふるとすれば、袋代300萬圓を越えることとなり、従つて經費節約の點から今春吉林現場間に鐵道を敷設、吉林大同セメント（淺野系）より30輛貨車を以て裸輸送を行ひ、直ちに壓搾空気を以つて貯藏所に送り、混合工場に搬入することにした、砂利は上流13軒、下流6軒の地點に採取場を設け、同所から同じく鐵道を敷設し、運搬別工場に送られ、混合工場に移るなど、總て機械操作によつ行はれるやうになつた。發電機は6萬キロ水車10臺を外國では獨逸、アメリカのスイス方面に發注した、日本に注文した分は日立製作所においてこれを製作することになつてゐる。

（以下40頁へ續く）